



キャンバスの張り方

造形ファイル <http://zokeifile.musabi.ac.jp/>

キャンバスのはりかた



概要

主に油彩画の支持体として用いられる、張りキャンバスの構造は、フレーム状に組んだ木枠にキャンバス（画布）を張り留めたもので、作者の表現に合わせて様々な形態やサイズのことを容易に自分で張ることができます。

キャンバスを張る際に必要な材料・道具として、木枠・キャンバス（必ず木枠より大きなサイズのものを用意。一辺の長さ＝木枠の長さ＋（木枠の厚さ＋約2～3センチ）×2）・キャンバス張り器（キャンバスを引っ張るペンチ状の道具）・タックス（釘）・木槌・金槌・はさみ又はカッター・三角定規・釘抜き（マイナスドライバーでも可）などを用意します。張る時の環境は、適度に湿度のある場所や雨の日などが最適です。これは、布地の繊維が湿度により伸縮するため、乾燥した状態で張ったものは、湿度が上がった時にゆるむ恐れがあります。キャンバスを張る工程としては、まず木枠を組み立てます。短辺と長辺の木枠の向きに注意し、枠の四隅のつなぎ目同士を組み合わせます。その際、少しずつ手で押しはめ込んだ後、木槌で叩き固定します。枠の内側に棧（さん）があるものは、枠部分のはめ込みと同時に組み入れます。組んだ後、各辺同士が直角になっているか三角定規をあてて確認します。次に、キャンバスを裏返し、その上から木枠をキャンバスの各辺から均等な距離になる位置に合わせます。この時に木枠の断面が内側にやや傾斜し、丸みがある面（表側）をキャンバス側に向けます。キャンバスの張り留め方法は、キャンバスを木枠の裏側からキャンバス張り器で挟みながら、テコの原理を利用して引っ張り（どの箇所も均一な力で）、その状態でタックスを金槌で打ち込みます。留め進める順序は、木枠の各辺の中央から端に向って、線対称の位置を交互に留めていくのが一般的ですが、他にも、各辺の中央を留めた後、四隅を留めて、次に中央と隅の間を留め進める方法もあります。タックスの間隔は木枠サイズにより異なり、キャンバスにズレや歪みが起きない適切な幅で、等間隔に留めます。四隅の余ったキャンバス部分は折りたたみ、タックスで留めて完成です。

表面にシワが出た場合は、その部分のタックスを抜き、張り器で引っ張ってタックスを打ち直します。また、使

用済みの張りキャンバスは、キャンバスを剥がし張り替えることで、再び利用できます。簡易的な張り留めの場合、タックスでなくガンタッカーを代用することも可能です。

キャンバス張りに必要な道具



木枠



キャンバス (画布)



キャンバス張り器



タックス (キャンバス用釘)

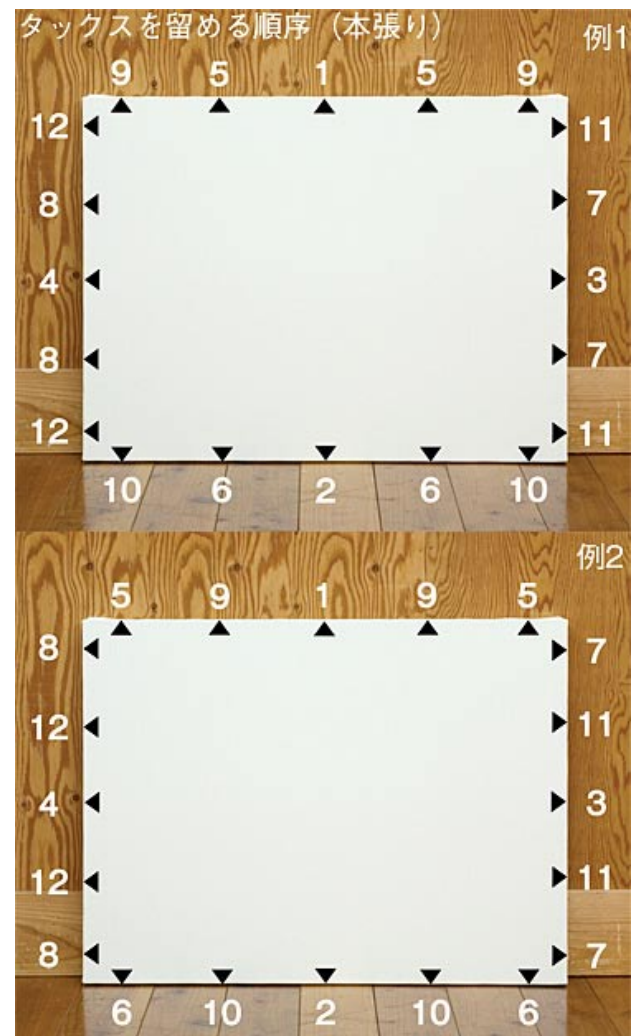


木槌

金槌

釘抜き

その他に、カッター又ははさみ、三角定規、直定規、鉛筆が必要になります。



木枠を組み立てる



手順1. まず、手により仮組みしていきます。木枠の内側の枠になる木片を、長辺と組み合わせます。この際、丸みのある面を表側（キャンバス側）に向ます。



手順4. 一カ所を一度に固定せずに、全体を見ながら徐々に打ち込んでいきます。



手順2. 短辺にあたる木片も組み合わせます。



手順5. 組み上がったら、三角定規を角に当てて、直角になっているかを確認し、完成です。



手順3. ある程度組み、木枠がはまったら、木槌で叩いて固定していきます。この時、あて木をすることで、木枠に傷がつきません。

キャンバスを張る



手順 1. キャンバスを裏返して広げ、木枠の表側を下向きにして、キャンバスに置きます。



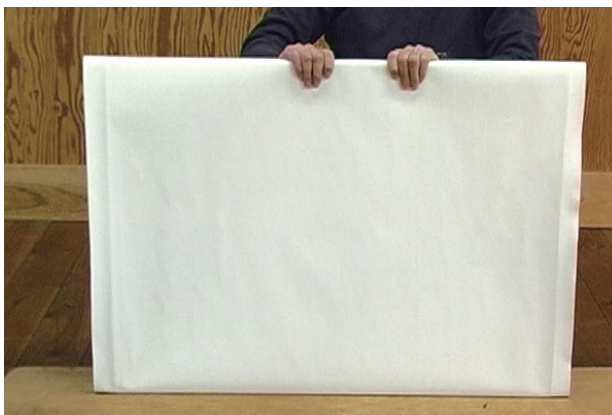
手順 4. まず片方の長辺の中心から、金槌でタックス（釘）を仮打ちします。



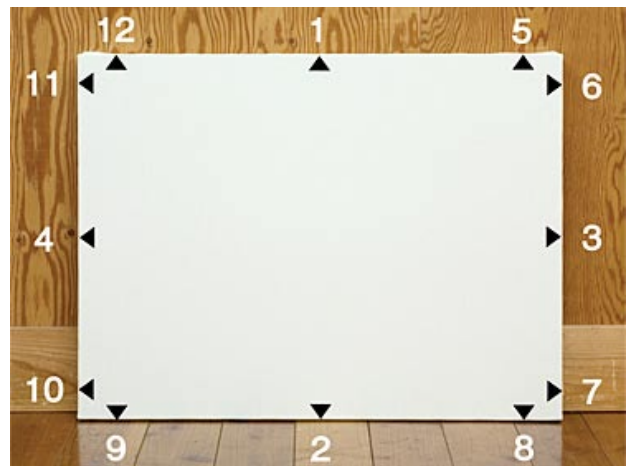
手順 2. 木枠の各辺よりも数センチほど大きなサイズに、キャンバスを切ります。



手順 5. 続いて2本目のタックスは、もう一方の長辺の中央へ、キャンバス張り器でキャンバスを引張りながら仮打ちします。



手順 3. 木枠が切り出したキャンバスの中央に来るように調整します。



手順 6. 同様に、写真の順序で、タックスを仮留めしていきます。



手順 7. 仮留めし終わったら、再び最初に留めた片方の長辺中央のタックスに戻り、仮打ちしたタックスを抜きます。



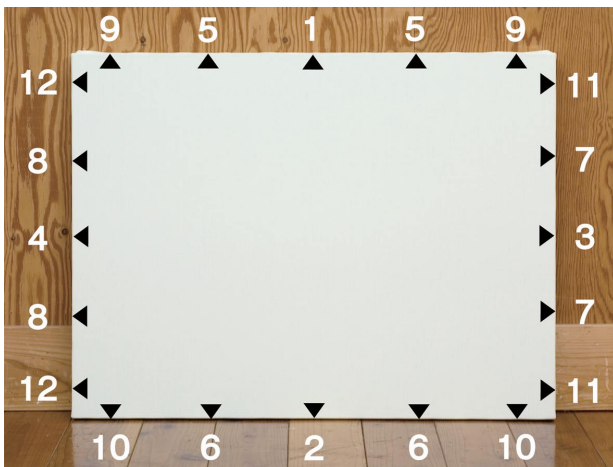
手順 10. キャンバスの隅の部分は、写真のように余った部分を折込みます。



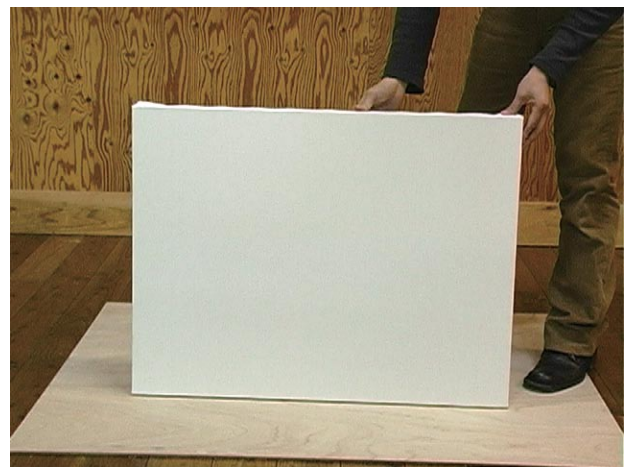
手順 8. タックスを抜いたら、キャンバス張り器でキャンバスを引張りながら、もう一度しっかりと打ち込み直します。



手順 11. 折り込んだら、タックスで留めます。同様に他の四隅も留めていきます。



手順 9. 同様に、もう一方の長辺中央のタックスを打ち込み直すなど、上記の順序でしっかりとシワの無いようにキャンバスを木枠に本張りしていきます。



手順 12. シワがないことを確認し、完成です。